



日本のまんなか
水と緑といで湯の街 Kawasaki 市

平成 30 年 5 月 第 2 回 市長定例記者会見次第

- ・日時 平成 30 年 5 月 14 日 (月)
午前 11 時
- ・場所 市役所本庁舎第 2 応接会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 件 名

(1) 会見説明

- | | | |
|------|---|---------------------|
| 資料 1 | Kawasaki 市行政改革推進委員会委員の公募について
総合政策部長 酒井 雅典 | (1 ページ)
内線 2400 |
| 資料 2 | Kawasaki 市地域福祉推進委員会委員の公募について
保健福祉部長 諸田 尚三 | (3 ページ)
内線 1200 |
| 資料 3 | Kawasaki 市民生委員児童委員協議会啓発活動の実施について
保健福祉部長 諸田 尚三 | (5 ページ)
内線 1200 |
| 資料 4 | 旬のタマネギ・ジャガイモ収穫体験ツアーの開催について
農政部長 藤川 正彦 | (7 ページ)
内線 4600 |
| 資料 5 | 市に寄せられているツキノワグマの情報及び対応について
農政部長 藤川 正彦 | (9 ページ)
内線 4600 |
| 資料 6 | 第 2 次 Kawasaki 市中心市街地活性化プラン策定に伴う
ワークショップの実施について
商工観光部長 笹原 浩 | (11 ページ)
内線 4899 |
| 資料 7 | 第 3 5 回 Kawasaki へそ祭りの参加者募集について
商工観光部長 笹原 浩 | (13 ページ)
内線 4899 |
| 資料 8 | 工芸家・南雲龍氏からの作品寄附と感謝状の贈呈について
教育部長 石北 尚史 | (15 ページ)
内線 4930 |

(2) その他の資料

- | | | |
|-------|--|----------|
| 資料 9 | Kawasaki 市消防団ポンプ操法競技会及びラッパ吹奏訓練の
実施について (総務部防災安全課) | (17 ページ) |
| 資料 10 | ゴールデンウィーク中の市有温泉施設入館者状況について (19 ページ)
(商工観光部観光課) | |
| 資料 11 | ゴールデンウィーク中の Kawasaki スカイランドパーク遊園地の (21 ページ)
入園等の状況について (建設部都市計画課) | |

4 そ の 他

5 閉 会

○次回開催予定 日時：平成 30 年 5 月 21 日 (月) 午後 1 時～
場所：本庁舎第 2 応接会議室

資料1

担当：総合政策部行政改革推進課行政改革係 諏訪智子
電話0279-22-2320 内線2434

件名：渋川市行政改革推進委員会委員の公募について

- 1 目的 市では、効率的で効果的な行財政運営を行うとともに、市民の皆さんにとって満足度の高いサービスを提供できるよう、様々な分野での改革を進めています。今後の行政改革推進に当たり、広く市民の皆さんの意見を反映させたいため、渋川市行政改革推進委員会の委員の一部を公募します。
- 2 募集人数 2人（選考あり）
- 3 応募資格 次の項目の全てに該当する人
①20歳以上の市内在住の人
②本市の行政改革の推進に関心のある人
③市議会議員、市職員及び本市の他の審議会等の委員でない人
④平日昼間に開催する会議に出席できる人（年3回程度）
- 4 任期 平成30年7月1日から2年間
- 5 報酬 日額6,100円
- 6 応募期間 平成30年5月15日（火）から6月8日（金）まで
- 7 応募方法 (1) 応募に必要な書類
「渋川市行政改革推進委員会公募委員応募申込書」に必要事項を記入の上、応募動機（行政改革に対応する思いなどを400字以内にまとめたもの）を添えて応募してください。
(2) 申込書等の配布
行政改革推進課の窓口で配布。市ホームページからもダウンロードできます。
(3) 提出方法
郵送、FAX、Eメール又は直接持参のいずれかの方法で行政改革推進課へ。
〒377-8501 渋川市石原80番地
FAX 0279-24-6541
Eメール gyoukaku@city.shibukawa.gunma.jp
※持参の場合、市役所開庁日の午前8時30分から午後5時15分まで（土・日曜日、祝日を除く。）。
- 8 その他（昨年度の会議の状況）
【第1回】・第3次渋川市行政改革大綱（実施計画）の平成29年度取組計画と平成28年度の実績について
・事務事業評価の平成29年度の取組と平成28年度の取組結果について
【第2回】・事務事業評価の平成29年度取組結果について

資料2

担当：保健福祉部社会福祉課管理係 高橋幸徳 電話0279-22-2250 内線1226

件名：渋川市地域福祉推進委員会委員の公募について

1 目 的

平成26年に策定した渋川市地域福祉計画の中間見直しに当たり、市民の皆さんの幅広いご意見を聴くために設置する地域福祉推進委員会の一部の委員を公募するものです。

2 委員会について

地域福祉に関する事項について市民の皆さんの幅広いご意見を聴くために設置するものであり、市民委員のほかに、社会福祉関係者、保健医療関係者等で構成されます。

3 募集人数 2人（選考あり）

4 応募資格

次の全てに該当する人

- ①市内に住所を有し、応募日現在で20歳以上の人
- ②地域福祉に関心がある人
- ③国及び地方公共団体の議員又は常勤職員でない人
- ④市の他の付属機関などの委員になっていない人
- ⑤平日の昼間に開催される会議（年4回程度）に出席できる人

5 任 期

委嘱した日から平成32年3月31日まで

6 報 酬

「渋川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」に基づき支給します（日額6,100円）。

7 応募方法

申込書（様式は問いません）に住所、氏名、年齢、職業、電話番号と地域福祉に対する思いなどを200字以内にまとめた応募動機を記入の上、郵送、ファックス、Eメール、または直接社会福祉課窓口へ申し込んでください。

8 応募期間

平成30年5月15日（火）から6月8日（金）まで

9 決定方法及び結果について

選考により決定し、結果については応募者全員に通知します。

10 周知方法

市広報紙（5月15日号）及び市ホームページに募集案内を掲載します。

資料3

担当：保健福祉部社会福祉課管理係 品田直志 電話0279-22-2250 内線1218

件名：渋川市民生委員児童委員協議会啓発活動の 実施について

- 1 趣 旨 平成29年に制度創設100周年を迎えた民生委員制度は、次なる100年に向けて新たな一歩を踏み出すこととなりました。
民生委員・児童委員は、これからも地域において、人びとの笑顔、安全、安心のために、関係機関と連携し、さまざまな取り組みを推進していくことが大切です。そのためには、これまで以上に民生委員・児童委員の存在や活動について、地域住民や関係機関・団体等に理解を深めていただき、さらなる信頼関係を築いていくよう、働きかけていくことが必要となります。
渋川市民生委員児童委員協議会では、地域住民や関係機関・団体等に理解を深めていただくため、パネル展示等啓発活動を実施します。
- 2 日 時 平成30年5月21日（月）から平成30年5月25日（金）まで
- 3 会 場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール
- 4 内 容 パネル展示
 - ・「こんな悩みありませんか？」
 - ・「民生委員・児童委員ってどんな人？」
 - ・「こんな活動をしています」
 - ・「私たちは民生委員・児童委員です」
 - ・各民児協主催子育てサロン紹介

資料4

担当：農政部農林課流通係 前村紳也 電話0279-22-2593 内線4864

件名：旬のタマネギ・ジャガイモ収穫体験ツアーの 開催について

- 1 目的 市内で生産される農産物を身近に感じ、農業への理解を深めてもらうため、収穫体験を開催します。
- 2 日時 平成30年6月16日（土）
午前10時～午後1時（予定）※小雨決行
- 3 内容 収穫体験
タマネギ、ジャガイモの収穫体験
（選別農薬農法「しぶせん」により栽培）
収穫した農作物はお土産としてお持ち帰りいただきます。
昼食
渋川市産の手打そば等
- 4 場所 市役所第二庁舎集合
（ほ場・昼食会場まではバスで移動します）
- 5 参加費 一人500円
- 6 持ち物 汚れても良い服装、雨具、軍手
- 7 募集人数 30名（先着順）
- 8 申込方法 渋川市役所農林課へ電話連絡
受付開始：5月22日（火）午前8時30分から
- 9 問合せ先 渋川市役所農林課（電話：0279-22-2593）

資料5

担当：農政部農林課林政係 都丸雅浩 電話0279-22-2593 内線4974

件名：市に寄せられているツキノワグマの情報 及びその対応について

平成30年5月14日 午前9時時点

現在、市内においては、主に5箇所での被害・目撃情報が寄せられています。
場所は、有馬、伊香保町水沢、伊香保町伊香保、伊香保町湯中子、祖母島です。

有馬、伊香保町水沢では養蜂箱の被害が発生、
伊香保町伊香保、伊香保町湯中子、祖母島については目撃となっております。

市の対応としては、

- ・目撃情報が寄せられるごとに渋川市有害鳥獣捕獲隊の隊員（狩猟免許所持者）と現地確認及びパトロールを実施し、足跡などをもとに捕獲用の檻罠設置
- ・防災行政無線及びほっとマップメールで市民へ周知、学校や保育所などが近い場合には教育委員会を通じて情報提供
- ・警察など関係機関への連絡
といった対策を取っています。

檻の設置箇所については、伊香保町水沢に2箇所、伊香保町伊香保に1箇所、有馬に1箇所の計4箇所設置しております。

伊香保町湯中子については伊香保町伊香保に出没した個体と同一個体と思われること、祖母島については目撃箇所が人家から離れた山中であり、危険性が低いと判断したことから設置しておりません。

また、今回目撃されている個体とは別に、渋川市石原、中郷、上白井において計3頭捕獲しております。

【参考資料】

1 捕獲情報 計3頭

平成30年5月 3日（木）	渋川市石原	1頭
平成30年5月 9日（水）	渋川市中郷（加生） 林道二本木線	1頭
平成30年5月10日（木）	渋川市上白井 林道北沢線	1頭

2 目撃・被害情報及び対応状況

(1) 有馬（五輪平）

- ・平成30年5月2日（水） 養蜂箱が被害 ドラム缶檻設置
- ・平成30年5月3日（木） 養蜂箱が再度被害
5月2日に警察に連絡、警察よりほっとマップメール

(2) 伊香保町水沢（時間は被害があったと思われる時間）

- ・平成30年5月6日（日） 養蜂場が被害 ドラム缶檻設置

資料5

- ・平成30年5月10日(木)(午前6時～8時) 養蜂箱が再度被害
- ・平成30年5月12日(土)(午前9時前) 養蜂箱3回目の被害箱檻追加
3回とも防災行政無線、ほっとマップメールで周知、捕獲隊員とのパトロールを実施、警察に連絡

(3) 伊香保町伊香保～湯中子 (時間は目撃時刻)

- ・平成30年5月7日 湯中子 伊香保小付近 目撃 1頭
- ・平成30年5月10日 午前11時 伊香保小付近 目撃 1頭
午後3時 伊香保 捕獲隊員が発見 2頭(親子)
ドラム缶檻設置
午後5時40分 伊香保小付近 目撃 1頭
- ・平成30年5月13日 午前10時40分 捕獲隊員が発見 2頭(親子)
すべて防災行政無線、ほっとマップメールで周知、捕獲隊とパトロール実施、警察署、教育委員会に情報提供

(4) 祖母島 (時間は目撃時刻)

- ・平成30年5月12日 午後2時ごろ 吾妻木質燃料センター付近
捕獲隊員とパトロール実施。山林内であり、人身被害の恐れは少ないと判断したため、防災行政無線、ほっとマップメール、檻の設置等はおこなっていない。

3 現在出没中と思われる個体 4頭～5頭

- ・五輪平～水沢 1頭～2頭(別個体の可能性もある)
- ・伊香保町伊香保～湯中子 2頭(親子連れ、同一個体と思われる)
- ・祖母島 1頭

資料6

担当：商工観光部商工振興課まちなか再生室 小野篤史 電話0279-22-2596 内線4891

件名：第2次渋川市中心市街地活性化プラン策定に伴う ワークショップの実施について

- 1 目的 市では、平成21年4月からの10年間を目標期間と定めた「渋川市中心市街地活性化プラン」が今年度をもって計画期間が満了となるため、今年度、平成31年度を初年度とする「第2次渋川市中心市街地活性化プラン」を外部委員による策定委員会において策定します。
プランを実効性のあるものとするため、この策定委員会と平行して市民参加型のワークショップを開催し、プランに基づく目標や取組方針を実現するための実効性のあるプロジェクトを検討し、プランに反映させます。
- 2 内容 本市の中心市街地の現状に精通している高崎経済大学地域政策学部坪井明彦教授をファシリテーターとしてお招きし、ワークショップ形式により、市街地の活性化につながる具体的なプロジェクトを検討します。
ワークショップは、市役所会議室で行うほか、渋川駅前商店街通り等での街歩きも予定しています。
- 3 実施予定 全3回実施
1回目は、6月14日（木）午後1時30分から市役所第二庁舎会議室で実施
その他9月及び11月に実施を予定
- 4 対象者 市内在住、在勤の人
- 5 定員 20人（定員を超えた場合は抽選）
- 6 参加料 無料
- 7 募集方法 広報しぶかわ5月1日号及び市ホームページによる。
- 8 申込方法 電話、ファックス、Eメールのいずれかの方法による。
- 9 申込期限 5月31日（木）

資料7

担当：商工観光部観光課観光振興係 原崎 毅 電話0279-22-2873 内線4881

件名：第35回渋川へそ祭りの参加者募集について

1 目 的 「渋川へそ祭り」は、おへそに絵を描いて踊るユニークなお祭りとして各種メディアでも紹介されており、今年で35回目を迎えます。このお祭りを盛り上げるため、「へそ踊りパレード」「路上パフォーマンス」「お祭りボランティア」の参加者を広く募集します。

2 第35回渋川へそ祭りの特徴的な取り組み (新規事項)

(1) 渋川女子高校バザーの出店

渋川女子高校との連携を通じ、バザーによるへそ祭りの参加希望がありました。新町五差路 (auショップ駐車場) に設ける物販エリアに、ブースを設置します。

(2) 自衛隊車両の展示

これまでも警察・消防車両の展示を行ってきましたが、陸上自衛隊からも展示希望があり、子どもたちが一層喜ぶと思われることから、同じスペースに展示します。

(その他)

(1) 踊りコンテスト【昨年度に引き続き】

昨年初めて実施したところ参加団体から好評だったことから、引き続き実施します。

(2) へそのまち物産コーナー【前回実施は平成27年度】

全国へそのまち協議会に加盟する8市町村の特産品を取り寄せ、物販エリアにおいて販売します。

3 日 時 平成30年7月21日 (土) 午前10時～午後8時

4 会 場 新町五差路周辺

5 募集内容 (1) へそ踊りパレード (午後5時～午後7時・雨天中止)
渋川へそ祭りのメインイベントで、次の3種類の踊りを披露しながら一斉に行進します。なお、踊りごとに優秀踊り団体を表彰する「踊りコンテスト」を実施する予定です。
①はら踊り：おなかに顔の絵を描いて、ステップしながら行進する踊りです。踊りに必要な笠や手型などは貸し出しますが、法被など各自で準備していただくものもあります。
②浴衣踊り：浴衣を着用し、おそろいの振り付けで踊りながら行進します。
③自由踊り：衣装も振り付けも自由に踊りながら行進します。
(2) 路上パフォーマンス (午前10時頃～午後3時頃・雨天中止)
電源やマイクなどを使わずに発表できる、自慢の技や芸を披露していただきます。
※出演時間は募集締切り後に調整します。
(3) お祭りボランティア (午前10時～午後8時のうち数時間)
はら踊りの腹絵描きや会場清掃など、祭りの運営をお手伝いいただきます。ご協力いただく業務により、従事時間が異なる場合があります。

資料7

- 6 参加申込 (1)・(2)は、参加申込書による事前申込みが必要です。
参加申込書は、渋川商工会議所、観光課、各行政センター、各公民館に設置します。また、市ホームページからも入手可能です。
必要事項を記入のうえ、6月15日(金)までに、渋川へそ祭り実行委員会事務局(渋川商工会議所内)へ提出してください。
(3)は、電話にてお申し込みください。
- 7 問合わせ先 渋川へそ祭り実行委員会事務局(渋川商工会議所・Tel0279-25-1311)
または観光課(Tel0279-22-2873)へご連絡ください。
(土日・祝日除く)。

資料8

担当：教育部美術館管理学芸係 須田真理 電話0279-25-3215

件名：工芸家・南雲龍氏からの作品寄附と感謝状の贈呈について

- 1 目的 市内在住の工芸家・南雲龍氏から「市に寄附する事で一般に公開頂き、文化情操面での寄与をしたい」との趣旨により、平成30年4月11日付けで渋川市に100点の作品寄附がありました。そのご厚意に対して、市から感謝状を贈呈するものです。
- 2 内容 市長から感謝状を贈呈します。
- 3 日程 平成30年5月17日(木) 15時30分～
- 4 場所 渋川市役所 本庁舎2階 市長応接室
- 5 出席者 南雲龍氏、南雲龍比古氏

参考

南雲龍氏について

南雲氏は1931年、現在の北群馬郡吉岡町に生まれました。そして、群馬県立渋川高等学校を卒業後、金沢美術工芸大学に進学して学びました。元々、文禄慶長に始まる窯を継承した陶芸家の子として生まれました南雲でしたが、その作陶方法は、古典にとらわれることなく、斬新な手法を持ち、「用」にこだわらないものです。1970年前後には、陶と共に樹脂を作品に取り入れ、新たな世界を探求し、現代陶芸、あるいは、セラミックアート界の第一人者となりました。

渋川市とのかかわり

渋川市美術館は、市にゆかりのある作家として、平成14(2002)年に企画展「南雲龍展 陶に臨む—セラミックアートの世界」を開催。平成16(2004)年3月には、62点の作品を当市に寄附していただきました。平成17(2005)年に当時山梨県に開窯していた窯を群馬県渋川市に移転。

平成18(2006)年2月20日の市町村合併に先駆け、南雲龍氏にモニュメントの制作を依頼し、平成18年1月30日に完成。平成18年10月には、市町村合併とモニュメントの落成、さらに既に南雲氏より寄附済みの収蔵作品を中心として、企画展「新市誕生記念 龍窯十八代 窯を継承するということ」を開催。

平成26(2014)年には、企画展「なんなん？どうなん？そうなんだ！2014 内側から見る美術：工芸」と題し、南雲氏の作品を中心として工芸の世界を紹介。

寄附作品の公開について

今年度10月には、今回寄附いただいた作品を中心にした企画展「龍窯～受け継がれてゆくもの(仮題)」を開催予定。

資料9

担当：総務部防災安全課消防係 林 彰康 電話0279-22-2130 内線2183

件名：渋川市消防団ポンプ操法競技会及びラッパ吹奏 訓練の実施について

- 1 目 的 ポンプ操法競技会を通して、有事に即応した消防技術の
 向上と消防団員の士気の高揚を図ることを目的とする。

- 2 実施日時 平成30年5月27日（日）午前8時30分～正午
 開会式：午前8時30分
 競技開始：午前9時
 ※雨天決行、荒天順延（予備日：6月3日（日））

- 3 場 所 渋川市子持ふれあい公園（渋川市吹屋658番地1）

- 4 参 加 渋川市消防団（全30分団のうち11個分団）
 - ・第1方面隊 第4、5、6、7、8、9分団（渋川）
 - ・第2方面隊 第13分団（伊香保）
 - ・第3方面隊 第17、18分団（小野上）
 - ・第4方面隊 第27分団（赤城）、
 第30分団（北橘）

- 5 その他 第18分団長が選手宣誓を行います。
 上位4チームが6月17日（日）に開催される、消防協会
 渋川支部ポンプ操法競技会に出場します。

担当：商工観光部観光課観光施設係 後藤正己 電話0279-22-2873 内線4885

件名：ゴールデンウィーク中の市有温泉施設入館者 状況について

- 1 概要 市では、大型連休における各温泉施設の利用動向を把握するためにゴールデンウィークやお盆、年末年始の期間に市有の日帰り温泉施設と宿泊温泉施設の利用状況を調査しています。
平成30年度のゴールデンウィークにおける入館者状況の調査結果をまとめました。
- 2 結果 各施設では、大型連休における特典サービスを実施するなど利用者の増加に努めておりますが、調査期間における全施設の利用者は43,240人で前年度と比較して1,609人(96.4%)が減少しています。
日帰り温泉施設の伊香保温泉浴場石段の湯は、前年度比112.9%、宿泊施設であるSUNおのがみは、104.8と増加していますが、ほかの施設は減少しております。
これは、連休日数は変わりませんが、休日が連続する日数が分散したことなどが影響しているものと考えられます。
売上額では、伊香保温泉浴場石段が湯利用者の増加に伴い、売上げが増加しておりますが、ほかの施設では利用者の減少に連動して減少しております。
- 3 調査期間 平成30年4月28日(土)～平成30年5月6日(日)
- 4 対象施設
ア 日帰り温泉施設(7施設)
スカイテルメ渋川、伊香保温泉浴場石段の湯、小野上温泉センター、白井温泉こもちの湯、ユートピア赤城、赤城の湯ふれあいの家、北橋温泉ばんどうの湯
イ 宿泊温泉施設(2施設)
SUNおのがみ、たちばなの郷城山

ゴールデンウィーク中の市有温泉施設入館者状況

平成30年4月28日(土)～平成30年5月6日(日)

1 入館者数

(単位:人)

施設名		平成30年度	平成29年度	増減	対前年比
日帰り温泉施設	スカイテルメ渋川	8,710	9,265	▲ 555	94.0%
	伊香保温泉浴場 石段の湯	4,047	3,585	462	112.9%
	小野上温泉センター	8,716	9,300	▲ 584	93.7%
	白井温泉こもちの湯	3,319	3,566	▲ 247	93.1%
	ユートピア赤城	7,338	7,612	▲ 274	96.4%
	赤城の湯ふれあいの家	2,967	3,037	▲ 70	97.7%
	北橋温泉ばんどうの湯	7,242	7,555	▲ 313	95.9%
	小計	42,339	43,920	▲ 1,581	96.4%
宿泊温泉施設	SUNおのがみ	477	455	22	104.8%
	たちばなの郷城山	424	474	▲ 50	89.5%
	小計	901	929	-28	97.0%
合計		43,240	44,849	▲ 1,609	96.4%

2 売上額

(単位:人)

施設名		平成30年度	平成29年度	増減	対前年比
日帰り温泉施設	スカイテルメ渋川	4,648,087	4,769,490	▲ 121,403	97.5%
	伊香保温泉浴場 石段の湯	1,722,290	1,536,540	185,750	112.1%
	小野上温泉センター	5,164,800	5,478,155	▲ 313,355	94.3%
	白井温泉こもちの湯	625,925	670,675	▲ 44,750	93.3%
	ユートピア赤城	3,208,300	3,291,000	▲ 82,700	97.5%
	赤城の湯ふれあいの家	433,565	480,960	▲ 47,395	90.1%
	北橋温泉ばんどうの湯	2,667,220	3,100,470	▲ 433,250	86.0%
	小計	18,470,187	19,327,290	▲ 857,103	95.6%
宿泊温泉施設	SUNおのがみ	4,540,162	4,663,239	▲ 123,077	97.4%
	たちばなの郷城山	3,478,750	3,602,650	▲ 123,900	96.6%
	小計	8,018,912	8,265,889	-246,977	97.0%
合計		26,489,099	27,593,179	▲ 1,104,080	96.0%

資料11

担当：建設部都市計画課管理係 三輪俊介 電話0279-22-2073 内線4785

件名：ゴールデンウィークの渋川スカイランドパーク 遊園地の入園等の状況について

- 1 概 要 市では、大型連休における渋川スカイランドパーク遊園地の利用動向を把握するためにゴールデンウィークやお盆、年末年始の期間の遊園地の入園等状況を調査しています。
平成30年度のゴールデンウィークにおける入園者状況の調査結果をまとめました。
- 2 結 果 本年度も昨年度と同様に天候に恵まれ、晴天の日が多くありましたが、調査期間入園者数合計14,819人で前年度と比較して1,466人の減少で前年比91.0%となっています。入園者数は減少したものの、売上額は本年度26,176,340円で前年度と比較して158,430円の増加で、前年比100.6%の微増となっています。これは食堂売上額の大幅増加によるもので、景気改善による利用者1人当たりの園内購買等単価が増加していること、気温が高く氷菓子等の販売が好調だったこと及び外の飲食スペースを増設したことなどが要因であると考えられます。
- 3 調査期間 平成30年4月28日（土）～平成30年5月6日（日）

ゴールデンウィークの渋川スカイランドパーク遊園地入園等状況

平成30年4月28日(土)～平成30年5月6日(日)

1 入園者数

(単位:人)

	平成30年度	平成29年度	増 減	対前年比
平成30年4月28日～ 平成30年5月6日 合計	14,819	16,285	▲ 1,466	91.0%

2 売上額

(単位:円)

施設名	平成30年度	平成29年度	増 減	対前年比
平成30年4月28日～ 平成30年5月6日 合計(園内全体)	26,176,340	26,017,910	158,430	100.6%
上記の内食堂売上	5,726,300	4,984,710	741,590	114.9%

3 イベント

4月28日～4月30日、5月3日～5月6日 大道芸人パフォーマンスショー・ビンゴゲーム